

(別添資料1)

事業所名

あしたのつばさ あんじゅ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

12日

法人（事業所）理念		生きる力を高める					
支援方針		自ら望む未来を自ら考え、選択し、責任をもって創り出す力を育成する					
営業時間		9時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり なし
		支援内容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階や、年齢、発育状況に合わせて身の自立（排泄、着脱）や身の整理が身に付くように支援します。 食事の際、フォークや箸の使い方を知らせていくことや離席をせずに嫌いなものでも少しずつ食べられるように側で介助しながら支援します。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びを通して、体幹機能が向上し身体の巧緻性が高まるよう支援します。 様々な感覚遊びを通して、本人の持つ感覚の幅を広げるようにします。また、苦手意識を持っているものにも本人の様子を見ながら配慮して活動を行います。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 自分から行動できるような落ち着いた環境を作り、分かりやすい言葉や誘導などで行動を促します。 生活動線を分かりやすくして、生活習慣が身に付きやすい環境を作ります。また、個別活動の際にコグトレや知育玩具を用いて遊びながら認知機能向上を図ります。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 小集団の中で子ども同士で関わり合えるような環境作りや活動を提供し、発語や会話を引き出します。 自分の思いや聞きたい事を言葉にして表現できるように支援員と一緒に考えながら「伝える」ことが出来るよう支援します。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 様々な遊びを通して場所や物の共有をすることで、友達と自然と関わり合える環境を作り、関わり合えるよう支援します。 集団活動の中で『順番を待つ』『自分の思いが通らない事があっても少しずつ我慢する』という事も経験しながら集団行動がスムーズにいくように支援します。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 日々の活動の様子、個別面談やモニタリングをしながら保護者の気持ちや悩みに寄り添いながらいつでも相談し合えるようにしています。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援を通して、関係園と連携を図りながら支援の方向性を一致させていくこと、具体案などを助言を行います。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 各関係機関と連携を図り、情報交換を密にしています。また、支援について担当者会議や療育見学などを行い、具体的な支援が出来るよう話し合いをしています。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 社員研修・キックオフミーティング・感染症予防研修・虐待身体拘束防止委員会・研修・事業継続計画研修・選択理論心理学研修・子ども指導エキスパート研修
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 玩具ライブラリーへ訪問、活動（月一回） 					